

## 試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：夏季作草花類の冷房育苗技術			
<p>[ 要約 ] 春咲き草花類デルフィニュームのベラドンナ系、シネンシス系、ププレウムは、冷房育苗（昼温23、夜温18）により、夏季においても育苗が可能である。また、播種後の低温処理でデルフィニューム（2～5、1～5週間）、ププレウム（5～11、6～9日間）は出芽率が向上する。</p>			
<p>キ-ワード（専門区分）栽培（研究対象）切花類 - デルフィニューム その他切り花類 （リ-キ-ワード）冷房育苗 低温処理 デルフィニューム ププレウム</p>			
<p>実施機関名（主査）農業総合研究センター暖地園芸研究所花き研究室 （協力機関）海匠農林振興センター （実施期間）2002年度～2004年度</p>			

### [ 目的及び背景 ]

春咲き草花類を秋出荷するため、夏季の高温時に発芽率が低く、生育が劣る品目について、良苗を確実に獲得できる育苗技術を確立する。

### [ 成果内容 ]

1. 秋播き春咲き草花類5品目9品種の発芽適温は異なる。ベラドンナ系デルフィニュームは20、シネンシス系デルフィニュームは20～25、小輪アスターは10、ププレウムは10、マトリカリアは20～25で発芽率が高く、平均発芽日数が短い（表1）。
2. デルフィニュームのベラドンナ系、シネンシス系、ププレウムは冷房育苗（昼温23、夜温18）により夏季においても発芽率が高く、育苗が可能である。
3. デルフィニュームのベラドンナ系、シネンシス系は播種した後、2及び5で、2～4週間の低温処理により、出芽率が向上し、出芽までの日数が短縮する（表2）。さらに、冷房育苗で定植後の生育が旺盛になる。
4. ププレウムは播種した後、5～11で、6～9日間の低温処理により出芽率が向上し、平均発芽日数が短くなる（表3）。

### [ 留意事項 ]

### [ 普及対象地域 ]

県下全域

### [ 行政上の措置 ]

### [ 普及状況 ]

[ 成果の概要 ]

表 1 秋播き草花類における温度と発芽率

品 目	品 種 名	温 度 ( )				
		10	15	20	25	30
		%	%	%	%	%
デルフィニウム	ベラドンナインブ	86	92	94	78	43
	マリンプルー	86	91	97	97	83
ラークスパー	ライラック	78	75	77	32	1
	シドニーホワイト	82	74	62	2	0
アスター	ステラスカーレット	90	82	64	55	35
	ステラホワイト	99	96	97	93	83
ブプレウム	グリーンゴールド	47	21	18	4	0
マトリカリア	シングルホワイト	76	87	82	84	50
	ホワイトワンダー	92	96	93	96	79

表 2 デルフィニウムの冷房育苗及び低温処理が出芽率に及ぼす影響

( 単位 : %、育苗 30 日目調査 )

品 種	出 芽 率 ( % )										
	2 処理					5 処理					
	0 W <sup>1)</sup>	1 W	2 W	3 W	4 W	5 W	1 W	2 W	3 W	4 W	5 W
ベラドンナインブ	49.0	69.8	88.5	72.7	80.2	82.3	53.1	82.3	59.1	78.1	92.7
マリンプルー	42.7	92.7	93.8	93.2	93.8	83.3	89.6	88.5	81.8	81.3	96.9

1 ) 処理期間 ( W : 週 )

2 ) 冷房育苗温度 : 昼温 23 、夜温 18

表 3 ブプレウムの低温処理が出芽に及ぼす影響 ( 冷房育苗 30 日目調査 )

処理温度 処理期間	5				8			11		
	0 日	3 日	6 日	9 日	3 日	6 日	9 日	3 日	6 日	9 日
出芽率 ( % )	64.1	71.9	89.8	83.6	70.3	79.7	81.3	83.6	83.6	87.5
出芽日数	12.1	10.9	9.3	9.0	10.1	8.6	6.7	10.1	8.0	5.5

冷房育苗温度 : 昼温 23 、夜温 18

[ 発表及び関連文献 ]

平成 14 年度暖地園芸試験成績書、

平成 15 年度暖地園芸試験成績書、

平成 16 年度暖地園芸試験成績書

[ その他 ]

平成 13 年度試験研究要望課題 ( 提起機関 : 海匠農業改良普及センター )